

バイオ関連産業の成長を促進し、地域経済を担う企業の成長を加速し、「しごと」を創出し、「ひと」を呼び込むことで、地方創生を実現。

- ◆ 福岡県のリソースと理化学研究所の連携より、機能性食品などの高付加価値製品の開発、革新的な医薬品・医療機器等の研究開発を促進し、「食」と「医療」による“先制医療”、“パーソナル医療”の開発拠点を創出。
- ◆ 社会的課題である生活習慣病・認知症等の発症を未然に防止し、国全体の健康寿命の延伸や医療費の削減に貢献。

福岡県の強み

集積

- 200社超のバイオ関連企業
 - ・機能性食品企業の集積
 - ・有望な創薬系ベンチャー企業
- 学術研究機関
 - ・久留米大(癌C、動物実験C)
 - ・九州大(久山町研究、グリーンファーム)
 - ・九産大(医療診断技術開発C)
 - ・九工大
 - ・工技センター 生物食品研究所
 - ・農総試、農研機構 等々

バイオ産業創出基盤

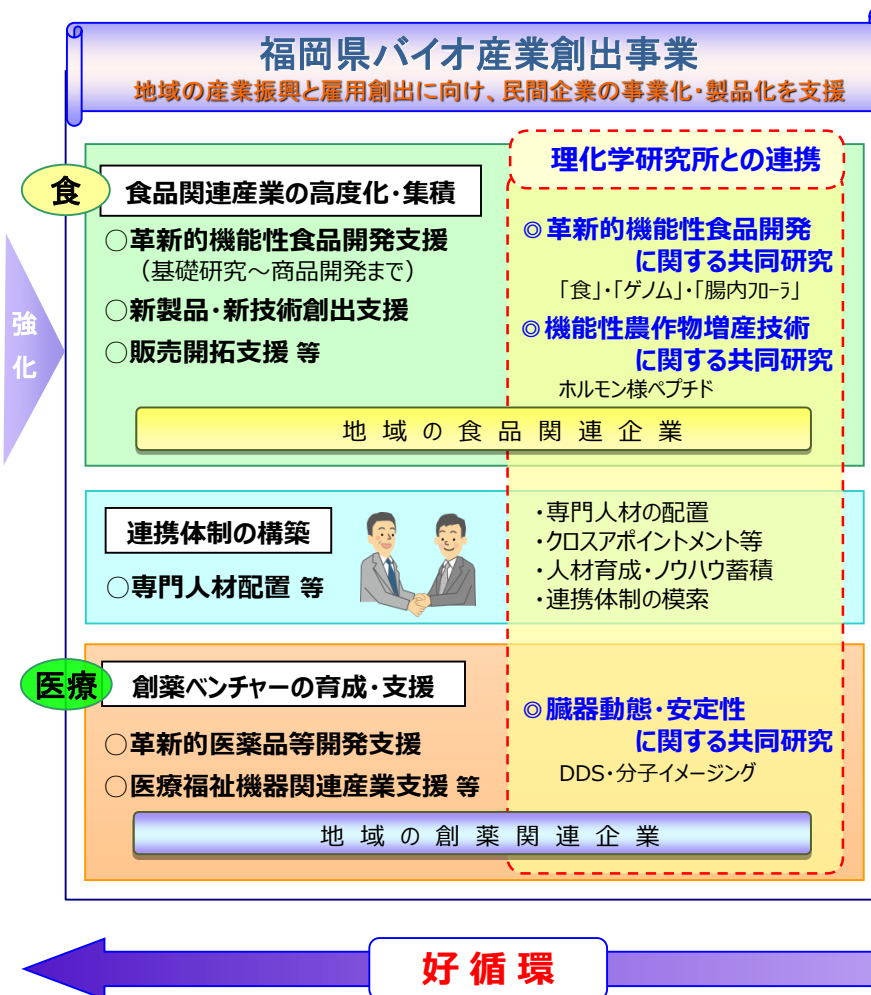
- ・産学官社ネットワーク基盤 (600会員)
- ・各種ハード・ソフト支援等

福岡県バイオ産業創出事業の事業主体

(株)久留米リサーチ・パーク(KRP)



福岡県と久留米市が連携し、KRPを中核拠点として、H13年より「福岡バイオバレープロジェクト」を展開。



発展

夢のあるバイオ産業創出！ ～クラスター形成（高度化・集積）～

地域の研究開発力・技術競争力の向上
※高付加価値化促進、付加価値生産額の向上等

「食」と「医療」の先制医療開発拠点化の促進
※理研との連携による福岡発の新しいビジネスモデル

核酸医薬クラスター形成
※核酸医薬の早期実用化等、国内初となる核酸医薬開発拠点化を促進



地域の企業・大学と理研との連携拠点の形成

実現

地方創生の実現



夢のあるバイオ産業の創出を進め、誰もがいつまでも健康でイキイキと活躍できる社会の実現を目指す。

魅力ある安定した雇用の場の創出

※「しごと」を創出、「ひと」を呼び込む

健康長寿(労働力の増加)、医療費の削減

※社会的課題の解決に貢献

交付金対象事業額 (単位：千円)

平成28年度	平成29年度	平成30年	平成31年度	平成32年度	総額
193,894	318,842	315,973	265,973	185,973	1,280,655

交付金対象事業のKPI

[5年間累計] ■ 製品化数 161件 ■ 支援企業数 のべ 500社 ■ 人材育成数 のべ 1,000人